

## 湘南支部 2月例会 まとめ

2月19日(土)19時から湘南支部2月例会が行われました。参加者は23名で、ここ最近の例会では最大での参加となります。内容は学び舎の教科書の制作に携わっている東京の武蔵野支部の黒田貴子さんをお招きして、学び舎の教科書についての学習を行いました。

テーマ：『『ともに学ぶ人間の歴史』(学び舎教科書)の魅力を語ります』

歴教協でも有名な先生方が集まって、「子どものための教科書を作ろう!」と言ったことがきっかけで作られた教科書です。

内容としては、これまでの教科書で当たり前のように載っている史料(例えば、日清戦争輝のビゴ一作『釣り』など)などの見方や考え方に対する疑問や、新しい資料を用いた考え方を用いています。慰安婦の問題についても掲載をする(といっても、1ページの4分の1程度)など、これまでの教科書とは違った視点で学ぶことが出来る教科書です。また、資料も豊富に使われているところから、教科書としてだけではなく、資料集としても価値のあるものです。

現職の先生方が中心となって会社まで設立をして作られた教科書であり、ぜひとも一見の価値があるものです。興味のある方は学び舎のHPをご参考頂くか、世話人までお問い合わせください。

以下、質疑を掲載します。

## Q&A

Q、教科書の内容は、難しいものなのか?

A、指導書を見てももらえれば、概ねできるようになっているが、執筆者でも、教科書全てを扱うのは無理と言っている。状況に応じて、程度を考えながら扱うと良い。

Q、発足者を見ると、「教科書で授業をしない先生方」だという印象を持っているが、黒田さんから見た印象は?また、資料集を目指しているという印象を持っているがそれについては如何か?

A、安井俊夫さんの発想から出発していて、自分たちでも使いたくなる教科書を作ってみようという考え方から始まっている。資料集という声もあったが、教科書を作る意味は大きい。学び舎の教科書は生徒が夢中になって読んでいる光景が見られたことも…。不登校の子が学び舎の教科書を読んで、社会科だけ好きになったという例も。

意…自分の子ども時代は全く教科書に興味が無かったが、学び舎の教科書は子どもの興味を引く作りになっている。大人目線で言うと、受験向けの内容とはまた離れているという声もあるので、実際、使っている学校はどうか…聞いてみたい。

意(学び舎の教科書を使っている学校)…初年度はこっちがチョーク&トークで教えるのが中心で、新しい見方が教科書に載っているよという伝え方が出来た。2年目は、コロナ禍での休校の中でどう扱っていくかという内容になったが、教科書の図版が役に立った。扱

いやすさはあったが、カリキュラムとの兼ね合いに悩んだのが実感。

A、共感共苦という言葉が安井さんが発言しているが、学び舎でも初年度の悩みについては議論が行われている。

意、一般の教員がこの教科書を扱うのはかなり難易度が高いであろうと考えている。この教科書をどう扱うかということは課題になると思う。

意、2年前に教科書選定委員というやつにあたった。各地域の先生が集まって話し合いをした。教科書を見比べていく中に学び舎のものは無かった。まとめ役の先生が「なんとなく決まっているんだ」という言い方をしていた。採択する視点からも色々考えられることもあるのかと思った。

A、教員の意見が通らないからやる気がなくなるという自治体も多いが…。頑張っているところもある。行政には会社負担で無料郵送をしている。それがかなりの負担に…学び舎の会員として3000円を支払っていただけると幸いである…。

A、現在2025年度版を作成している。皆さんの声を受け止めていきたい。学び舎でも学習会をやっているので、是非。